



師田 保

大川フィッシングパークについて

大川フィッシングパークは魚沼漁協清津支部が事業主体となり、平成10年に山鳥原公園の大川河畔に開設されたイワナ・ヤマメ釣りを主体とした観光的管理釣り場施設です。施設への入込み客数も昨年は冷夏等の天候不順により減少しましたが、平成14年度は1千600人を記録し、また訪れた人からの評判もよく、今後三国地区の観光名所の一つになることは間違いないと思っております。しかし、より以上の集客を望むためには現在の施設では限界があり、最低限の施設整備が必要かと思われま

大川フィッシングパークの整備を

質問

①町は本年10月から観光立町宣言を立ち上げ、本格的な観光行政への積極的な取り組みを行う計画であるが、その中でこの大川フィッシングパークをどのように位置づけしていくつもりか。  
②現在の施設は漁協清津川支部の担当組合員が手造りで作った簡素なものであり、集客向上を図るためには最低限の整備が必要である。漁協清津支部の財政では整備には限界があるところから、町として何らかの整備補助ができないものか伺います。

町長答弁

大川フィッシングパークにつきましては、体験型観光がもてはやされている昨今、観光釣り場として非常に魅力的であり、今後やり方によっては湯沢町の大きな観光資源として



大川フィッシングパークの受付小屋

売り出すことのできる施設であると認識しております。10月の観光立町宣言を機に、この施設を今後どのように生かしていくかについて考えていくつもりでおります。次に施設整備の補助金等についてご質問であります。が、受付所なども仮設で作られた状態で、景観的にもあまり良くないと私も思っております。しかし改めて施設を造るとなるとお金もかかることもあり、私としては現存する山鳥原茶屋の中にフィッシングパークの管理施設を同居するのが最

一般

質問

質問

山鳥原公園石畳の道の整備について

質問

善かと思っております。今後山鳥原茶屋管理組合、漁協清津支部の皆さんのご意見を拝聴しながら最善の方法を考えていきたいと思っております。

①山鳥原公園の石畳の道は健常者でも歩きづらい部分があり、ましてや障害者の方にとっては到底遊歩することが出来ません。今はバリアフリーの時代であり、それに対応した早急な整備改善が必要と思えます。

②公園の中の山茶屋はあれだけ立派な施設であるにもかかわらず、土産売店のみで飲食の設備がありません。営業者を公募するなどして、もっと施設の有効活用をすべきと考えますが、如何ですか。

町長答弁  
私自身も石畳の道は歩いた経験もありますので、ご質問の件については理解しております。石畳の道は幅員も充分ありますので、障害者の方の車椅子などが通れるように舗装することは可能です。また一部急坂の部分もありますので、それらを含めた改善策について勉強させていただきます。それから飲食等の施設についても、個人的には峠の茶屋風なイメージで団子などを食べられるような設備があれば良いと思っております。これらについても今後山鳥原管理組合、漁協清津川支部の皆さんと協議し前向きに取り組んでいくつもりです。



障害者の方も散策できる整備を(山鳥原公園 石畳の道)